

工 事 写 真 報 告 書

工 事 番 号 平成 29 年度

工 事 名 K 様 邸

工 事 箇 所 屋根・外壁・その他 塗装工事

工 事 住 所 小郡市

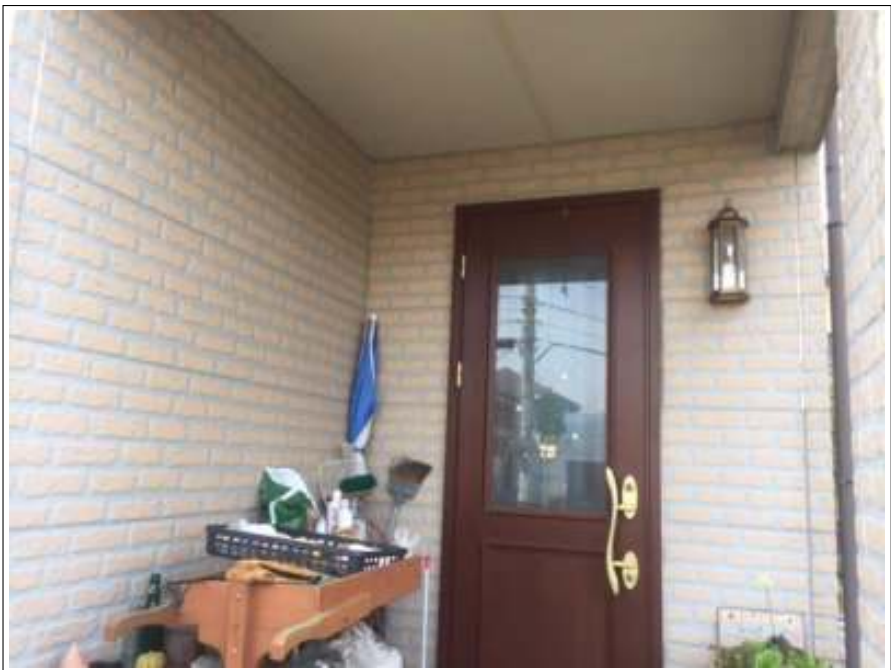
工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



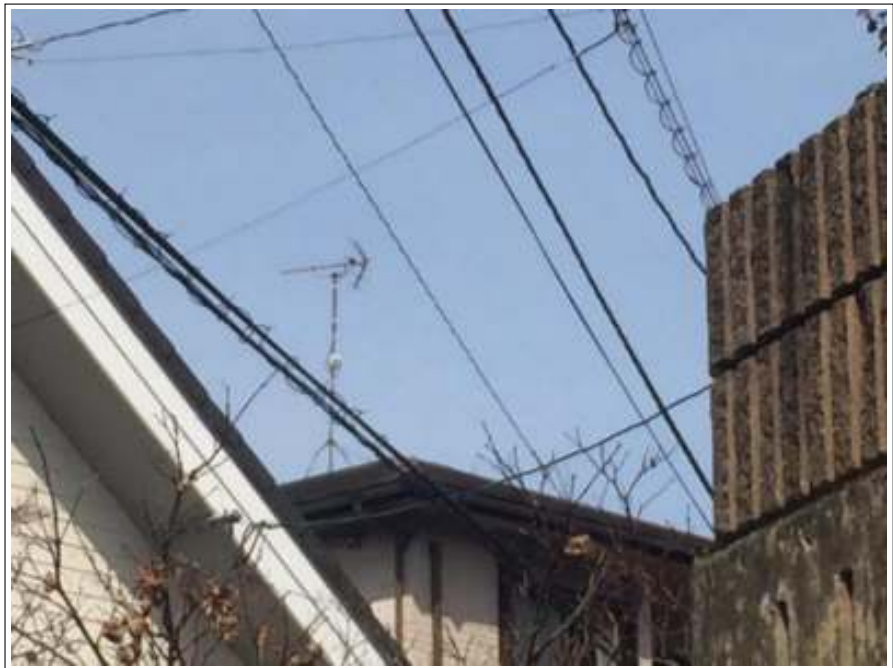
外観



外観



外観



屋根

この素材はセメント: アスベスト(又は「ルーフ 繊維」) が85 : 15で作られています。

表面の塗装が新築当時はアクリル塗装を焼き付けており、7年ぐらい経過すると表面の防水効果が低下し、

だんだん反りや割れが生じてきます。



破風板

経年劣化しています。

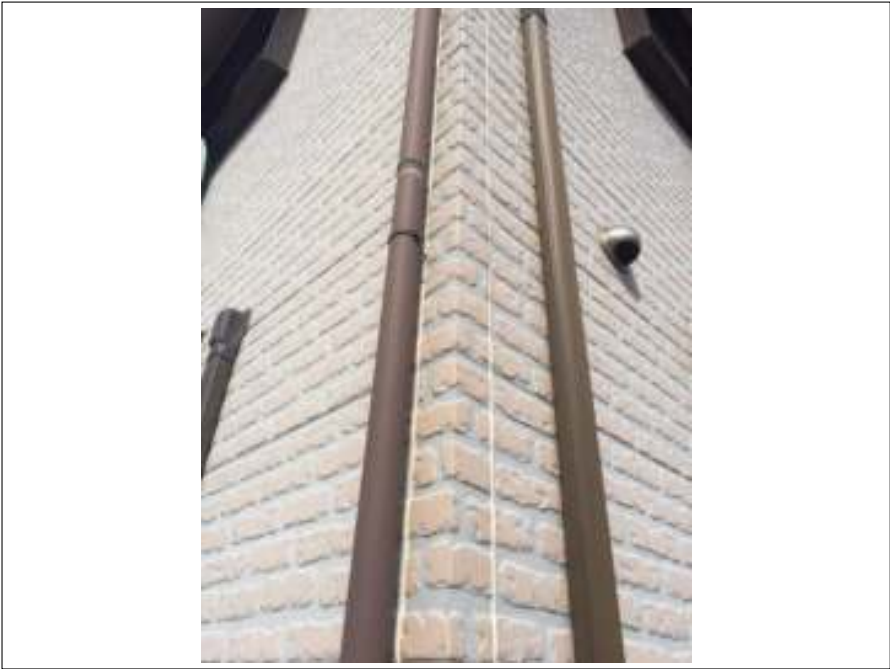
劣化すると腐食、お住まいの痛みにつながりますので、下塗り・上塗りをおこないます。



軒天

経年劣化しております。

この部分は通気性の良い軒天専用の塗装をしていきます。



樋

こちらは塩ビ素材になります。

劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



シャッター、シャッターBOX

この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



換気フード

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



小庇

同上



土台水切り

同上



チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



外壁 反り

外壁の塗装表面が劣化し、水を吸って乾いてを繰り返して、外壁の反りが見られます。

一度浮いたり反った外壁は張替え以外では元に戻らないので、これ以上反らないように早めの塗装をお勧め致します。



外壁 劣化部

反りや表面の劣化がさらに進むと、
外壁の割れが発生してきます。

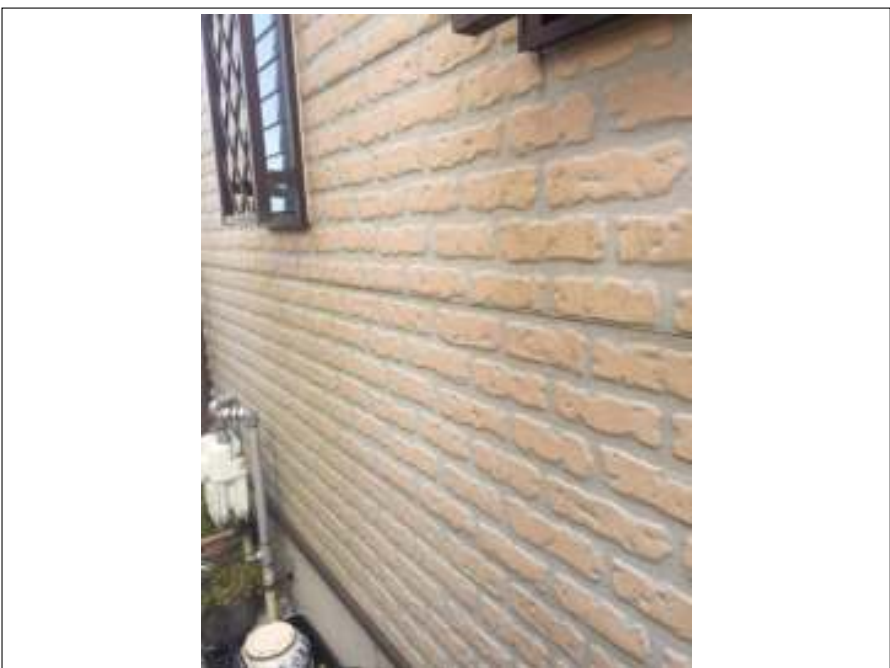
この部分から雨水や湿気、炭酸ガス
等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや
建物の寿命につながりますので、劣
化が進む前の早めの塗装をお勧め致
します。



外壁 現状

外壁の面によっては、カビの発生が
見られます。

カビの上にくら良い塗装をして
も、カビの根が残っている以上塗膜
を突き破って表面化してきますの
で、カビの根を抑える必要がありま
す。



外壁 カビ発生部

対処方法

いくら高圧洗浄をかけても、カビの
根が残ってしまいますので、カビの
根を殺す防カビ下塗りをおこない、
下塗り・上塗り二回の三層四工程を
おこないます。



ボード シーリング劣化部

全体的に見られます。

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや建物の寿命につながりますので、劣化部はシーリング補修をおこない塗装をしていきます。



サッシ廻り シーリング劣化部

見落としがちですが、サッシ廻りも劣化している部分がありますので、劣化している部分は打ち増しをおこない塗装をしていきます。

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

